

科目名 (科目番号)	臨床運動学 (時間割参照)	教員名 深谷隆史	学科等	理学療法	必修	履修年次	2
			曜日・時限等	時間割表参照		単位数	1
			授業形態	講義	オフィスアワー	木3・A310研究室	
授業概要	理学療法の対象となる多くは動作の異常・障害です。本授業では運動学で学んだ力学的基礎、身体機能解剖を基盤とし講義・実技を通して正常動作を理解しながら、動作の異常・障害を動画等を用いて学習します。						
目的・目標	目的:障害を有する人の身体運動の観察・分析・記述方法について学ぶ 目標:①運動学で学習した知識を復習し、姿勢・動作を観察・記述する方法について理解できる。 ②各疾患特有の動作観察から問題点の整理ができるようになる。						
準備学習	毎回の授業について少なくとも1時間程度の予習・復習をすること。						
授業計画	回	授業項目	到達目標・学習内容				
	1	オリエンテーション	到達目標:理学療法における動作分析の意義について説明できる。 学習内容:なぜ、動作の異常・障害を理解しないといけないかについて考える。				
	2	姿勢の観察	到達目標:力学的知識を利用し臥位・座位・立位姿勢の特徴を説明できる。 学習内容:画像を用いて症例の臥位姿勢の特徴について考える。				
	3	動作の観察と分析1	到達目標:力学的知識を利用し動作の特徴を説明できる。 学習内容:立ち上がりを中心とした正常な動作について実技を通して学ぶ。				
	4	症例検討1	到達目標:正常と異常(障害)の動作の違いを理解する。 学習内容:動画等を用いて立ち上がり動作について学ぶ。				
	5	動作の観察と分析2	到達目標:正常歩行について理解する。 学習内容:動画等を用いて正常歩行について学ぶ。				
	6	症例検討2	到達目標:正常と異常(障害)の動作の違いを理解する。 学習内容:動画等を用いてパーキンソン病患者の動作について学ぶ。				
	7	症例検討3	到達目標:正常と異常(障害)の動作の違いを理解する。 学習内容:動画等を用いて脳血管障害患者の動作について学ぶ。				
	8	症例検討4	到達目標:正常と異常(障害)の動作の違いを理解する。 学習内容:動画等を用いて変形性膝関節症の動作について学ぶ。				
成績評価の方法・基準	対面時:課題レポート(100%) オンライン時:課題レポート(100%)						
教科書	症例動作分析―動画から学ぶ姿勢と動作		隈元庸夫		ヒューマンプレス		
参考図書							
教員からのメッセージ	授業内で小レポートを行います。小レポートはコメントを付して授業内で返却します。 総合病院、クリニック等で勤務した理学療法士がこの授業を担当します。 オンライン授業に伴い授業計画に変更がある場合は、オンラインクラスで変更のシラバスを周知いたします。						